

経営比較分析表

岩手県 一関市

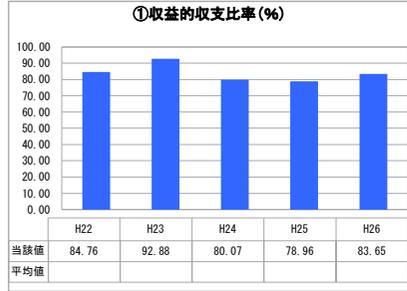
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.71	98.75	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
124,344	1,256.42	98.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,283	3.52	2,353.13

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



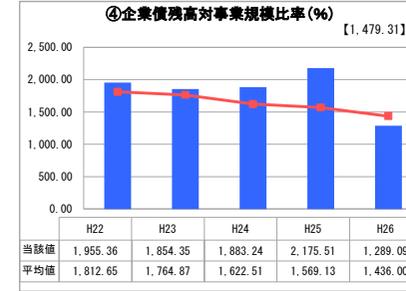
「単年度の収支」



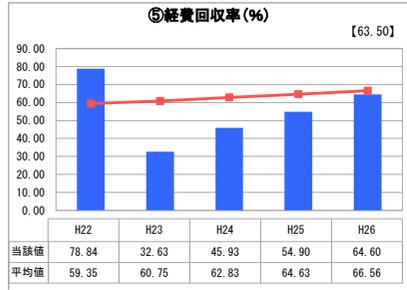
「累積欠損」



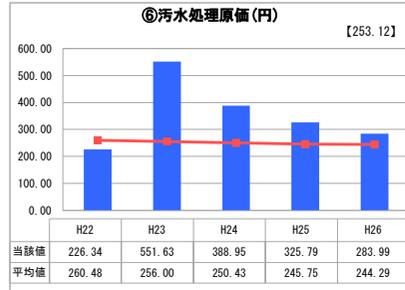
「支払能力」



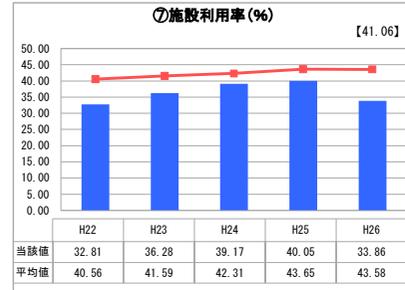
「債務残高」



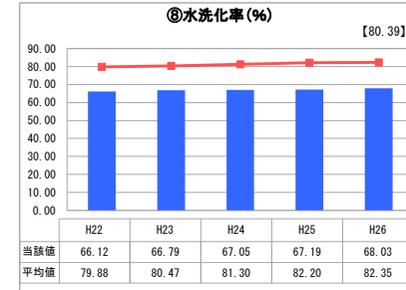
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支においては、右肩上がりではあるものの、低い水準にとどまっている状況にあります。水洗化率は緩やかに上昇していますが、区域内人口の減少や節水指向の高まりから使用料収入の伸びは低調となっています。初期施設の整備完了から10年超が経過し、区域内人口や流入水量の減少により施設利用率も低調であるとともに、修繕費用の増加と合わせて、過大となっている施設管理費が汚水処理原価を押し上げている状況にあります。

2. 老朽化の状況について

平成23年度は東日本大震災による災害復旧において管渠更新を行ったところです。初期に整備した施設・設備は、経年劣化による故障なども相次いでおり計画的な更新が急務であることから、今後、処理区毎に策定する長寿命化計画に基づき、補助事業等を活用しながら施設の維持・更新に努めます。

全体総括

当事業は、平成27年度の花泉地域での整備をもって完了することから、今後は施設の維持を中心に管理を行っていくこととなります。使用料のみの経費では、改修が困難なことから、費用削減に取り組むとともに、水洗化率を上げる取組として普及活動を行います。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。